

令和5年度 一般会計補正予算（第2号）説明資料

1. 編成概要

- 今回の補正予算は、当初予算編成以降に生じた経費について追加等を行うものです。

2. 予算規模

- 補正額は次のとおりです。

(単位：千円)

会 計 名	補正前の額	補 正 額	計
一 般 会 計 (第2号)	37,706,293	301,998	38,008,291

3. 補正事項

- 主な補正事項は次のとおりです。
 - (1) 南極観測船「しらせ」寄港に係る事業費の調整
 - (2) 石見まちづくりセンター（仮称）長沢サブセンターの整備に係る事業費の調整
 - (3) 新型コロナウイルスワクチンの令和5年春開始接種及び秋開始接種等に係る事業費の調整
 - (4) 森林由来J-クレジット創出のための調査・研究に係る事業費の調整
 - (5) 債務負担行為の追加
 - 石見まちづくりセンター（仮称）長沢サブセンター整備事業
 - 児童養護施設整備支援事業
 - 企業立地奨励事業
 - 道の駅ゆうひパーク浜田リニューアル事業

4. 一般会計補正予算（第2号）

1. 歳入歳出予算総括表

（歳入）

〔単位：千円〕

款	補正前の額	補正額	計	説明
15 国庫支出金	5,018,133	146,007	5,164,140	新型コロナウイルスワクチン接種事業費 81,410 生活困窮者自立促進支援事業費 1,252 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費 63,345
19 繰入金	2,408,414	13,391	2,421,805	財政調整基金繰入金 10,341 森林環境譲与税基金繰入金 3,050
21 諸収入	1,138,515	1,900	1,140,415	コミュニティ助成事業費(総務費) 1,900
22 市債	2,348,000	140,700	2,488,700	まちづくりセンター整備事業費 140,700
歳入合計	37,706,293	301,998	38,008,291	

（歳出）

〔単位：千円〕

款	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国庫支出金	地方債	その他	
2 総務費	5,324,630	151,687	5,476,317		140,700	1,900	9,087
3 民生費	11,985,428	2,506	11,987,934	1,252			1,254
4 衛生費	3,060,967	144,755	3,205,722	144,755			
6 農林水産業費	1,924,355	3,050	1,927,405			3,050	
歳出合計	37,706,293	301,998	38,008,291	146,007	140,700	4,950	10,341

2. 事業別の補正事項

2 (総務費)

151,687

番号	新規区分	事業名及び事業概要	事業費	国県支出金	地方債	その他	一般財源						
1	新規	南極観測船「しらせ」入港歓迎事業 南極観測船「しらせ」の浜田港寄港・一般公開に伴い、「(仮称)しらせ入港歓迎事業実行委員会」に対して歓迎事業に要する費用を助成する ○寄港予定日：令和5年9月8日～9月11日 ○一般公開予定日：令和5年9月9日～9月10日 (詳細はP6の新規事業等実施に伴う説明シート参照) 【事業費】 <table border="1"> <tr> <td>補正前</td> <td>補正額</td> <td>補正後</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>8,970</td> <td>8,970</td> </tr> </table>	補正前	補正額	補正後	0	8,970	8,970	8,970	0	0	0	8,970
補正前	補正額	補正後											
0	8,970	8,970											
2		石見まちづくりセンター(仮称)長沢サブセンター整備事業 所在地：長沢町 石見地区に石見まちづくりセンターの機能を補完するサブセンターを新たに設置し、まちづくり活動の活性化を図る ○用地取得費・補償費 外 (詳細はP7の新規事業等実施に伴う説明シート参照) 【事業費】 <table border="1"> <tr> <td>補正前</td> <td>補正額</td> <td>補正後</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>140,817</td> <td>140,817</td> </tr> </table>	補正前	補正額	補正後	0	140,817	140,817	140,817	0	140,700	0	117
補正前	補正額	補正後											
0	140,817	140,817											
3		地域安全まちづくり事業 宝くじ助成事業による地域コミュニティへの助成を行う(地域防災組織育成助成事業) ○申請団体：相生2-1町内防災会 ○助成額：1,900千円 ○事業内容：防災倉庫の整備・防災資機材の購入 【事業費】 <table border="1"> <tr> <td>補正前</td> <td>補正額</td> <td>補正後</td> </tr> <tr> <td>6,272</td> <td>1,900</td> <td>8,172</td> </tr> </table> ※当初(128)6,272千円	補正前	補正額	補正後	6,272	1,900	8,172	1,900	0	0	1,900	0
補正前	補正額	補正後											
6,272	1,900	8,172											
総務費 合計			151,687	0	140,700	1,900	9,087						

3 (民生費)

2,506

番号	新規区分	事業名及び事業概要	事業費	国県支出金	地方債	その他	一般財源						
4		生活保護事務費 被保護者調査に係る報告項目の追加等及び令和5年10月の生活保護基準改定に対応するシステム改修に係る経費 【事業費】 <table border="1"> <tr> <td>補正前</td> <td>補正額</td> <td>補正後</td> </tr> <tr> <td>15,482</td> <td>2,506</td> <td>17,988</td> </tr> </table> ※当初(262)15,482千円	補正前	補正額	補正後	15,482	2,506	17,988	2,506	1,252	0	0	1,254
補正前	補正額	補正後											
15,482	2,506	17,988											
民生費 合計			2,506	1,252	0	0	1,254						

4 (衛生費)

144,755

番号	新規区分	事業名及び事業概要	事業費	国県支出金	地方債	その他	一般財源						
5		新型コロナウイルスワクチン接種事業 令和5年春開始接種及び秋開始接種等に係る経費の調整(令和4年度繰越予算と併せて事業実施予定) 【事業費】 <table border="1"> <tr> <td>補正前</td> <td>補正額</td> <td>補正後</td> </tr> <tr> <td>21,764</td> <td>144,755</td> <td>166,519</td> </tr> </table> ※当初(298)21,764千円	補正前	補正額	補正後	21,764	144,755	166,519	144,755	144,755	0	0	0
補正前	補正額	補正後											
21,764	144,755	166,519											
衛生費 合計			144,755	144,755	0	0	0						

6 (農林水産業費)

3,050

番号	新規区分	事業名及び事業概要	事業費	国県支出金	地方債	その他	一般財源						
6	拡充	<p>豊かな森づくり推進事業 浜田市豊かな森づくり推進協議会が行う森林由来J-ークレジット創出のための調査・研究に要する費用を助成する (詳細はP8の新規事業等実施に伴う説明シート参照)</p> <p>【事業費】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補正前</th> <th>補正額</th> <th>補正後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>56,034</td> <td>3,050</td> <td>59,084</td> </tr> </tbody> </table> <p>※当初(405)56,034千円</p>	補正前	補正額	補正後	56,034	3,050	59,084	3,050	0	0	3,050	0
補正前	補正額	補正後											
56,034	3,050	59,084											
農林水産業費 合計			3,050	0	0	3,050	0						

3. 債務負担行為補正

(追加)

事 項	期 間	限 度 額
石見まちづくりセンター (仮称)長沢サブセンター整備事業	令和6年度	72,124
児童養護施設整備支援事業	令和6年度	44,238
企業立地奨励事業	令和5年度から令和8年度まで	2,500
道の駅ゆうひパーク浜田リニューアル事業	令和6年度	20,000

4. 地方債補正

(変更)

起 債 の 目 的	補 正 前 限 度 額	補 正 後 限 度 額
まちづくりセンター整備事業	44,900	185,600

新規事業等実施に伴う説明シート

事務事業名	南極観測船「しらせ」入港歓迎事業	整理番号	1
		担当部・課	総務部 防災安全課
事業期間	(単年度)・複数年度	事業区分	(新規)・拡充
	令和5年度～令和5年度・終期未定		裁量・義務(政策ソフト)・政策ハード・明るい未来・中山間地対策

(1) 事業の概要・全体計画等

①目的	南極観測船「しらせ」の浜田港寄港に伴い、児童生徒をはじめ多くの方に南極観測の学術的意義や地球環境の保全の重要性を認識していただくことを目的に、「(仮称)しらせ入港歓迎事業実行委員会」に対して歓迎事業に要する費用を助成する。																																																
②背景	重要港湾「浜田港」PRの取り組みとして、海上自衛隊艦艇の浜田港寄港を受け入れている。南極観測船「しらせ」の寄港は平成25年度以来10年ぶりとなる。																																																
③効果	<ul style="list-style-type: none"> ・最先端の自然科学研究に触れる貴重な機会であり、児童生徒への教育効果が見込まれる。 ・浜田港のPRにつながる。 																																																
④内容	<p>○寄港予定日: 令和5年9月8日(金)～9月11日(月) ○一般公開予定日: 令和5年9月9日(土)～9月10日(日) (仮称)しらせ入港歓迎事業実行委員会予算(見込み)</p> <p>【収入】 (単位: 円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>予算額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浜田市補助金</td> <td style="text-align: right;">8,970,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>歓迎レセプション会費</td> <td style="text-align: right;">350,000</td> <td>出席者会費 実行委員会側 50人×7,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">9,320,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【支出】 (単位: 円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>予算額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 出入港費</td> <td style="text-align: right;">3,500,000</td> <td>曳船料 外</td> </tr> <tr> <td> 会場運営費</td> <td style="text-align: right;">2,590,000</td> <td>シャトルバス、駐車場誘導員費用 外</td> </tr> <tr> <td> 会場設営費</td> <td style="text-align: right;">2,210,000</td> <td>仮設トイレ、看板、テント設置料 外</td> </tr> <tr> <td> 入港歓迎費</td> <td style="text-align: right;">140,000</td> <td>記念品、花束、神楽謝金</td> </tr> <tr> <td> 歓迎レセプション費</td> <td style="text-align: right;">630,000</td> <td>出席者80人(しらせ側30人、実行委員会側50人)×7,000円 外</td> </tr> <tr> <td>広報宣伝費</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 広報宣伝費</td> <td style="text-align: right;">230,000</td> <td>チラシ、ポスター</td> </tr> <tr> <td>事務局費</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 事務局費</td> <td style="text-align: right;">20,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">9,320,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">実行委員会構成員(予定) 浜田市 浜田市教育委員会 浜田商工会議所 浜田地区防衛協会 自衛隊関係者 港湾関係者 浜田海上保安部 島根県警察 等</p>	項目	予算額	備考	浜田市補助金	8,970,000		歓迎レセプション会費	350,000	出席者会費 実行委員会側 50人×7,000円	合計	9,320,000		項目	予算額	備考	事業費			出入港費	3,500,000	曳船料 外	会場運営費	2,590,000	シャトルバス、駐車場誘導員費用 外	会場設営費	2,210,000	仮設トイレ、看板、テント設置料 外	入港歓迎費	140,000	記念品、花束、神楽謝金	歓迎レセプション費	630,000	出席者80人(しらせ側30人、実行委員会側50人)×7,000円 外	広報宣伝費			広報宣伝費	230,000	チラシ、ポスター	事務局費			事務局費	20,000		合計	9,320,000	
項目	予算額	備考																																															
浜田市補助金	8,970,000																																																
歓迎レセプション会費	350,000	出席者会費 実行委員会側 50人×7,000円																																															
合計	9,320,000																																																
項目	予算額	備考																																															
事業費																																																	
出入港費	3,500,000	曳船料 外																																															
会場運営費	2,590,000	シャトルバス、駐車場誘導員費用 外																																															
会場設営費	2,210,000	仮設トイレ、看板、テント設置料 外																																															
入港歓迎費	140,000	記念品、花束、神楽謝金																																															
歓迎レセプション費	630,000	出席者80人(しらせ側30人、実行委員会側50人)×7,000円 外																																															
広報宣伝費																																																	
広報宣伝費	230,000	チラシ、ポスター																																															
事務局費																																																	
事務局費	20,000																																																
合計	9,320,000																																																
⑤その他	<p><平成25年度寄港時の様子></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p><寄港履歴> 初代: 平成13年(入場者 14,404人)、平成19年(入場者11,580人) 2代目: 平成25年(入場者 8,500人)</p>																																																

(2) 他の地方公共団体の類似する政策との比較検討

--	--

(3) 提案に至る過程における市民参加の実施の有無とその内容

	市民参加の実施 (有・ 無)
--	------------------------

(4) 総合振興計画との整合性

総合振興計画上の位置づけ	まちづくりの大綱 施策大綱 まち・ひと・しごと創生総合戦略の該当
--------------	--

(5) 財源措置・将来にわたるコスト計算

単位: 千円

		全体計画	5年度	6年度	7年度以降
財源内訳	事業費	8,970	8,970	0	0
	国県支出金	0	0	0	0
	地方債()	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	8,970	8,970	0	0

新規事業等実施に伴う説明シート

事務事業名	石見まちづくりセンター (仮称)長沢サブセンター整備事業	整理番号	2
		担当部・課	地域政策部 まちづくり社会教育課
事業期間	単年度・ <u>複数年度</u> 令和5年度～令和7年度・終期未定	事業区分	新規・ <u>拡充</u>
			裁量・義務・政策ソフト(<u>政策ハード</u>)・ <u>明るい未来</u> ・中山間地対策

(1)事業の概要・全体計画等

①目的	かねてより地域住民から拠点施設の整備を強く望む声や社会教育委員の会からの提言を受けるなど、人口や世帯数が多く、管轄面積も広い石見地区の協働のまちづくり(地区まちづくり推進委員会などによる地域課題の解決に向けた取組や地域の特色を活かしたまちづくり)の推進においては、拠点機能の拡充が必要であることから、既存の石見まちづくりセンターを補完するとともに、地域住民の利便性や安全性等を十分に考慮した防災拠点としての施設整備を行う。	
②背景	<p>長沢地域における団地開発による人口急増等に対応するため、平成3年9月以降、長沢公民館の建設について合計4回の地元陳情等を受けていた。また、平成25年度の社会教育委員の会の提言「浜田市の公民館のあり方、めざす姿について」において、石見公民館管轄区域に、公民館本館の設置が2館程度は必要と示されたことにより、「長沢地域において公民館は必要な施設である」、「全体の公民館配置やコミュニティセンター化も含めた方向性を検討していく」という市の方針に至ったところである。</p> <p>こうしたことを受け、平成29年度には、中期財政計画上に長沢公民館整備事業を新規計上し、令和4年度から当該整備事業を本格的に実施するため、令和4年3月市議会定例会議において「浜田教育センター」敷地内での新規整備に係る予算提案を行った。</p> <p>その後、令和4年度浜田市一般会計予算に対する附帯決議(まちづくりセンター及びそれに付随する施設は、その機能が十分に発揮されるものでなければならない。最小の経費で最大の効果が生まれるよう、原案を基本に捉えつつも、より最適な立地を再考すること。)を踏まえ、予算審議において提案のあったキヌヤ長沢店の敷地内での建設の可否について、株式会社キヌヤとの協議とともに、これまでの建設候補地であった「浜田教育センター」及び「陶芸の里」などの事業費や改修案についての比較検討を行ってきた。</p> <p>そうした中、令和4年8月17日付けで、長沢町まちづくり推進委員会会長及び長沢公民館館長の連名により、「地元として地域住民の利便性及び災害避難場所としての安全性等を十分に考慮した立地場所として、キヌヤ長沢店敷地内への新規建設を求めるといった内容の陳情書「(仮称)長沢サブセンター建設に係る陳情について」が新たに提出された。</p> <p>地元陳情にもある住民の利便性や災害避難場所としての安全性に加え、交通アクセスの良さなどといった立地条件や、これまでの建設候補地の事業費や改修案に係る比較検討結果のほか、株式会社キヌヤとして社会・地域貢献の観点から本市に協力したい強い思いを持たれていることなどを総合的に鑑み、キヌヤ長沢店の敷地内での新規整備の方向で具体的に検討を進めていくこととした。</p>	
③効果	石見地区における地域活動拠点の拡充によって、協働のまちづくりが推進され、地域の活性化や地域課題の解決が図られる。また、避難所機能も拡充されることで、地域住民の安全・安心に繋がる。	
④内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和5～6年度 不動産鑑定評価、用地取得、建物設計、補償(店舗一部解体) 令和6～7年度 建物及び外構工事、備品購入 ※太陽光発電設備については検討中 	
⑤その他	<p>1 整備施設の概要</p> <p>キヌヤ長沢店敷地(長沢町3068番地 外)に次のとおり整備する。</p> <p>(1)建物 軽量鉄骨造平屋建(床面積400㎡程度)を新築</p> <p>(2)土地 店舗を一部解体後、敷地面積約2,100㎡を株式会社キヌヤから取得</p> <p>2 運営手法等</p> <p>石見まちづくりセンターの機能を補完する施設のため、センター長及び主事については、石見まちづくりセンター職員が兼務で対応する。それに伴い、石見まちづくりセンター職員を増員(主事1名、パート事務員1名)する。</p> <p>※令和7年度中に供用開始予定</p>	<p>【整備予定地イメージ】</p> 

(2)他の地方公共団体の類似する政策との比較検討

--

(3)提案に至る過程における市民参加の実施の有無とその内容

市民参加の実施 (有)・無
<ul style="list-style-type: none"> 地元関係者等への説明会の実施 石見まちづくりセンター(仮称)長沢サブセンター建設整備計画(案)パブリックコメント(令和5年3月～令和5年4月)

(4)総合振興計画との整合性

総合振興計画上の位置づけ	まちづくりの大綱	Ⅶ. 協働による持続可能なまち
	施策大綱	Ⅶ-1. 地域コミュニティの形成
	まち・ひと・しごと創生総合戦略の該当	

(5)財源措置・将来にわたるコスト計算

単位:千円

	全体計画	5年度	6年度	7年度以降
事業費	473,403	140,817	77,124	255,462
国県支出金	0	0	0	0
地方債(緊防債)	463,200	140,700	77,100	245,400
その他()	0	0	0	0
一般財源	10,203	117	24	10,062

新規事業等実施に伴う説明シート

事務事業名	豊かな森づくり推進事業 (森林由来J-クレジット創出事業)	整理番号	6
事業期間		担当部・課	産業経済部 農林振興課
	単年度・ 複数年度	事業区分	新規・ 拡充
	令和5年度～令和 年度・ 終期未定		裁量・義務・政策ソフト・政策ハード・明るい未来・中山間地対策

(1)事業の概要・全体計画等

①目的	カーボンニュートラルの実現を目指すうえで、その重要性が高まっている森林由来の炭素除去・吸収系クレジットについて、本市の民有林を対象とした炭素排出削減プロジェクトの妥当性及びJ-クレジットの実現性について調査・研究する。
②背景	J-クレジット制度は、温室効果ガスの排出削減量や吸収量をクレジットとして国が認証する制度で、認証したクレジットを売却し収入を得ることができ、信頼性・質の高いクレジット制度として認知されている。 2050年カーボンニュートラルの実現を目指すうえでも必要な制度であるが、制度改正以前(令和4年8月4日以前)は、プロジェクト実施地内での主伐及び伐採木から生産された木材製品の炭素固定量は排出とみなされたり、天然生林の吸収量は算定されないなどの制限もあり、人工林率が27%と低く主伐に舵を切っている本市においては、クレジットが確保できず、費用対効果の観点から取り組むことが難しい状況であった。 しかしながら、令和4年8月5日の制度改正により、①主伐後の再生林において標準伐期齢までの吸収量の控除が算定可能、②製材による木材利用を炭素固定量にクレジット化、③天然生林でも森林経営計画及び森林の保護活動が実施された区域の吸収量を算定できるなどの条件緩和により、本市においても採算が見込める制度となった。
③効果	1 森林の集約化、炭素固定量・炭素削減効果の見える化 2 森林による炭素削減効果の理解と普及促進 3 J-クレジット制度導入に向けた推進体制の構築
④内容	1 事業実施主体 浜田市豊かな森づくり推進協議会 2 取組内容(令和5年度) (1) モデル森林の設定、調査及び集約化 (2) 森林経営計画の整理及び計画策定 (3) 炭素固定量及び排出削減量等調査研究 (4) 天然生林保護林活動における炭素吸収量研究 (5) 炭素排出削減プロジェクト妥当性研究 3 予算額 3,050,000円(森林環境譲与税基金を活用し、「浜田市豊かな森づくり推進協議会」に対して森林由来J-クレジット創出のための調査・研究に対する補助金を交付する。補助金の内訳は以下のとおり) (1) 調査研究費 2,809,620円 ※浜田市豊かな森づくり推進協議会からの委託を予定 (2) 旅費・事務費 240,380円
⑤その他	<p>【スケジュール】 令和5年度 森林集約化・森林経営計画策定→炭素固定量及び吸収量の調査→プロジェクト妥当性の研究 ※調査・研究の結果、可能と判断した場合は、令和6年度以降、クレジット認証に向けて以下を実施予定</p> <p>プロジェクト計画書策定→審査機関による妥当性確認→登録申請→審査・プロジェクト登録(国)→データモニタリング収集(森林データ化)→モニタリング報告書作成(排出削減算定)→モニタリング報告書検証(審査機関)→クレジット認証(国)</p>

(2)他の地方公共団体の類似する政策との比較検討

県内では出雲市の民間会社や飯南町がプロジェクト実施者として認証されているが、本市においては浜田市豊かな森づくり推進協議会が主体となり、認証の可能性を調査・研究することとしている。

(3)提案に至る過程における市民参加の実施の有無とその内容

市民参加の実施 (有・無)

(4)総合振興計画との整合性

総合振興計画上の位置づけ	まちづくりの大綱	I. 活力ある産業を育て雇用をつくるまち
	施策大綱	I-2. 農林業の振興
	まち・ひと・しごと創生総合戦略の該当	1. 産業振興と企業立地による雇用の創出

(5)財源措置・将来にわたるコスト計算

単位:千円

	全体計画	5年度	6年度	7年度以降
事業費	未定	3,050	未定	未定
国県支出金		0		
地方債()		0		
その他(森林環境譲与税基金)		3,050		
一般財源		0		

新規事業等実施に伴う説明シート

事務事業名	児童養護施設整備支援事業 (債務負担行為)	整理番号	—	
		担当部・課	健康福祉部 子ども・子育て支援課	
事業期間	単年度・複数年度 令和6年度～令和6年度・終期未定	事業区分	新規・拡充	
			裁量・義務・政策ソフト・政策ハート 明るい未来・中山間地対策	

(1)事業の概要・全体計画等

①目的	児童養護施設の施設整備に要する費用の一部を補助することにより、保護者のいない児童や保護者に監護させることが適当でない児童の安定した生活環境を確保する。
②背景	昭和28年に設立された島根県西部唯一の児童養護施設である聖煌寮は、平成元年に現在の場所に移築されており、施設の老朽化への対応が急務となっている。また、現在の大舎制の施設から、より家庭的な養護環境を整えるための小規模ユニット型への転換も求められている。
③効果	<ul style="list-style-type: none"> 時代とともに多様化する児童の個々のニーズに対して、それぞれの児童の思いに寄り添った支援が提供できる。 児童虐待、養育困難などをはじめ、社会的養育を必要としている子どもたちをより良い環境の中で、安定した養育ができる。
④内容	<p>国・県からの補助金の交付を受けて整備を行う聖煌寮に対し、浜田市社会福祉法人の助成に関する条例及び同条例施行規則の規定に基づき、補助対象事業費から国、県の補助金を控除した額の1/2を上限に補助する。</p> <p>事業概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 整備予定地 浜田市三隅町向野田409番地（現施設の隣接地） 施設種類 児童養護施設 施設名称 聖煌寮 運営法人 社会福祉法人三隅愛育会 整備内容 <ol style="list-style-type: none"> 入所（利用）定員 現在 44名 → 整備後 36名（予定） 整備年度 令和5年9月～令和7年2月（予定） 補助内容 補助対象事業費：353,898千円 国：176,949千円 県：88,473千円 市：44,238千円 ※事業完了後、一括支払予定 <p>【参考】国県補助名称（補助率） 国：次世代育成支援対策施設整備交付金（1/2） 県：島根県児童福祉施設等施設整備費補助金（1/4）</p>
⑤その他	

(2)他の地方公共団体の類似する政策との比較検討

--

(3)提案に至る過程における市民参加の実施の有無とその内容

市民参加の実施（有・無）	無
--------------	---

(4)総合振興計画との整合性

総合振興計画上の位置づけ	まちづくりの大綱	Ⅱ. 健康でいきいきと暮らせるまち
	施策大綱	Ⅱ-3. 子どもを安心して産み育てる環境づくり
	まち・ひと・しごと創生総合戦略の該当	2. 子どもを安心して産み育てる環境づくり

(5)財源措置・将来にわたるコスト計算

単位：千円

	全体計画	5年度	6年度	7年度以降
事業費	44,238	0	44,238	0
国県支出金	0	0	0	0
地方債(社会福祉施設整備事業債)	35,300	0	35,300	0
その他()	0	0	0	0
一般財源	8,938	0	8,938	0

新規事業等実施に伴う説明シート

事務事業名	道の駅ゆうひパーク浜田リニューアル事業 (債務負担行為)	整理番号	—
		担当部・課	産業経済部 商工労働課
事業期間	単年度・ 複数年度	事業区分	新規 ・拡充
	令和5年度～令和7年度・終期未定		(裁量)義務・政策ソフト・政策ハード・明るい未来・中山間地対策

(1) 事業の概要・全体計画等

①目的	民間事業者の自由な発想で運営できる「道の駅」として、令和8年4月のリニューアルオープンを目指し、地域の魅力発信や集客力を高めた持続可能な交流拠点として再整備することで、賑わいの創出につなげる。
②背景	R4.4月 市及び市議会に対し、現設置者であるゆうひパーク浜田(株)から施設買取りによる公設民営化を要望される R5.3月 財産取得議決、財産無償貸付議決 R5.4月 所有権移転登記完了、設置者であるゆうひパーク浜田(株)へ3年間の財産無償貸付及び施設管理運営開始
③効果	県内唯一の山陰自動車道に直結する道の駅であり、今後予定される山陰自動車道の新全線開通による道路利用者の増加を踏まえ、市の重要な観光拠点である道の駅ゆうひパーク浜田を民間活力によるリニューアル整備及び管理運営を行うことにより、浜田市のみならず石見地域の観光ゲートウェイとしての更なる活用が期待できるとともに、市を代表する賑わい創出施設となることも期待できる。
④内容	道の駅ゆうひパーク浜田のリニューアル基本方針に基づき、公募型プロポーザルにより専門性のあるコンサルタント事業者等を選定し、令和6年度に予定している運営事業者選定に向けて、市民や道路利用者の意見聴取や、サウンディング型市場調査による民間事業者のアイデアの把握、応募しやすい公募条件の整理、提案内容の実現性の確認などのアドバイザー業務を委託する。
⑤その他	<p>【事業費の内訳】 事業者選定支援等アドバイザー業務委託料 20,000千円 ※債務負担行為の設定により、令和5～6年度の複数年契約とし、委託料の支払いは業務委託完了年度の令和6年度とする。</p> <p>【アドバイザー業務の概要】 委託期間 令和5年10月～令和7年3月(1年6か月) 委託内容 (1)市民・利用者ニーズ調査 (2)サウンディング型市場調査 (3)ゆうひ公園の一体的活用における協議・調整 (4)事業スケジュールの構築 (5)公募書類一式の検討及び作成支援 (6)優先交渉事業者の公募・選定及び契約締結に係る支援</p> <p>【令和6年度以降のスケジュール(予定)】 R6.4月 運営事業者の公募開始 R6.12月 運営事業者の決定 R7.3月 基本協定の締結 R7.4月 リニューアル改修工事(必要に応じて次期運営事業者が実施) R8.4月 リニューアルオープン</p>



(2) 他の地方公共団体の類似する政策との比較検討

--	--

(3) 提案に至る過程における市民参加の実施の有無とその内容

市民参加の実施 (有・ 無)	
------------------------	--

(4) 総合振興計画との整合性

総合振興計画上の位置づけ	まちづくりの大綱	I. 活力ある産業を育て雇用をつくるまち
	施策大綱	I-5. 観光・交流の推進
	まち・ひと・しごと創生総合戦略の該当	1. 産業振興と企業立地による雇用の創出

(5) 財源措置・将来にわたるコスト計算

単位:千円

財源内訳		全体計画	5年度	6年度	7年度以降
		事業費	未定	0	20,000
	国県支出金		0	0	
	地方債()		0	0	
	その他(ふるさと応援基金)		0	20,000	
	一般財源		0	0	